**投稿論文題目**

**Title of the submitted article**

1)、2)、1)※

Neko Inuyama 1), Kuma Morino 2), and Yu Kotori 1) ※

1. 動物看護大学　動物看護学部
〒150-0001　東京都渋谷区神宮前6-23-4
Veterinary Nursing College

6-23-4, Jingumae, Shibuya, Tokyo 150-0001, Japan

1. かんご動物病院
〒794-8555　愛媛県今治市いこいの丘1-3
KANGO Veterinary Clinic

1-3 Ikoino-oka, Imabari, Ehime 794-8555, Japan

※連絡責任著者：小鳥 遊

動物看護大学　動物看護学部

〒150-0001　東京都渋谷区神宮前6-23-4

電話：03-6841-2643

Email：journal@jsvn.gr.jp

**SUMMARY**

Text (<250 words)

**Key words:** bear, bird, cat, dog （アルファベット順）

**要約**文章（400字以内）

**キーワード：**熊、鳥、猫、犬（英文Keywordsと同じ順）

**序文**

序文から始める1)。引用は該当する文献番号を半角かつ上付きで記す2-6, 8)。

**材料および方法**

**結果**

図は本文に含めず、別の画像データとして投稿する。

**考察**

結果および考察としてもよい7)。

**謝辞**

**利益相反**

必要に応じて、謝辞や利益相反について引用文献より前に記載する。

**引用文献**

1. Iwata E, Wakabayashi Y, Kakuma Y, Kikusui T, Takeuchi Y, Mori Y: Testosterone-dependent primer pheromone production in the sebaceous gland of male goat. *Biology of Reproduction*, 62, 806-810 (2000)
2. 鈴木立雄: イヌおよびネコという動物, *ペット栄養学会誌*, 2, 16-24 (1999)
3. Serpell J, Jagoe JA: Early experience and the development of behavior, In: Serpell J, The domestic dog, 79-102, Cambridge University Press, London (1995)
4. 菊水健史, 永澤美保, 外池亜紀子, 黒井眞器: 日本の犬: 人とともに生きる, 197-198, 東京大学出版会, 東京 (2015）
5. 柳澤綾: 第 5章 診察時に必要な補助, In: 一般社団法人日本動物保健看護系大学協会カリキュラム委員会, 認定動物看護師コアカリキュラム2019準拠 臨床動物看護学1 動物内科看護学/動物外科看護学/動物医療コミュニケーション, 93-109, 株式会社インター・ズー, 東京 (2019)
6. Appleby MC, Mench JA, Olsson IAS, Hughes BO: 動物福祉の科学（佐藤衆介, 加隈良枝 監訳, 18-34, チクサン出版社, 東京 (2017)
7. Toll PW, Yamka RM, Schoenherr WD, Hand MS: 第27章 肥 満, In: Hand MS, Thatcher CD, Remillard RL, Roudebush P, Novotny BJ: 小動物の臨床栄養学 （岩﨑利郎, 辻本 元 監訳）, 第5版, 606-607, マーク・モーリス研究所日本連絡事務所, 東京 (2014)
8. 愛玩動物看護師法の概要, 農林水産省, https://www.maff.go.jp/j/syouan/
tikusui/doubutsu\_kango/attach/pdf/index-1.pdf（参照日 : 2021-04-24）

**表1　イヌおよびネコの頭数と性別**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | イヌ | ネコ |
| 雄 | 10 | 8 |
| 雌 | 6 | 8 |
| 合計 | 16 | 16 |

**図の表題および説明文**

**図1　対象となったイヌ**写真は、対象となったイヌの全身を示している。

**図2　対象となったネコ**

写真は、対象となったネコの全身を示している。